



学校だより 11月

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和2年 10 月 31 日

横浜市立日限山小学校

〒233-0015

港南区日限山二丁目 16 番 1

TEL 045(841)6561

「日限ンピック」開催までの道のり

校長 岡崎 陽子

いわし雲が広がる空を眺めながら、秋を実感する日々が続いています。

思い起こせば、今夏は「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催される予定でしたが、延期されました。本校の運動会も春から秋に延期はしたものの、開催できるかどうかさえ危ぶまれる事態となりました。

6月からの学校再開に向け、教育委員会からガイドラインが示されました。そこには、運動会を半日程度の開催で行うという例が書かれていました。そこから、本校では具体的にどのような形で実施できるだろうかという検討が始まりました。

運動会は、主に体育科の学習内容が関わっています。そこで、ガイドラインにおける体育科の感染症対策を確認すると、

- ・密集せず距離を取ってできる運動を行う。例えば体づくり運動、陸上競技、ダンス等。
- ・内容等を工夫し身体接触をしない運動にする。

等が書かれていました。

これらを踏まえると、例年行っている運動会をただ単に縮小するという発想ではなく、新しい運動会をつくるという考えをもって臨まなければいけないと強く感じました。

そこで、本校では「日限ンピック」として、第1部は競技を行い、第2部は演技を行うということにしました。

第1部は、身体接触のない誰もが楽しめるような競技を6年生が主体となって企画・運営しました。学年ごとの競技の様子は、今号の学校便りでお伝えしています。ぜひ、ご覧ください。6年生は、最高学年らしくリーダーシップを発揮し、思いやりのある態度が随所に見られ、頼もしく感じました。下学年の子どもたちからの「楽しかったです！」という声は何よりの励みになったことと思います。

第2部は、学年の個性を発揮した演技発表としました。練習中、演技をどんどん自分たちのものにしていく姿に目を見張る思いでした。子どもたちの無限の力に感動し、胸が熱くなりました。

学校が再開した頃は、野球やサッカー等のプロスポーツが無観客試合を行っていたのと同じように、運動会も参観者を入れずに行うことになるかもしれないと心配しました。

地域の皆様には、ご覧いただくことができず、申し訳ありませんでしたが、各家庭2名までの参観にご理解いただき、ありがとうございます。また、近隣の皆様には、マイクの声やダンスの曲、太鼓の音等、ご迷惑をおかけしたことと思いますが、温かく見守ってくださり、ありがとうございました。

保護者の皆様にとっては、子どもたちが活躍する姿をご覧いただく場面が減りましたが、趣旨をご理解いただき、様々な面でご協力いただいたことに感謝申し上げます。

多くの皆様のご理解とご協力があって、この「日限ンピック」を開催することができたことに、深い感慨を覚えます。ありがとうございました。